

研究課題番号	1RF-2001
研究課題名	農耕地におけるマイクロプラスチックの発生と海域への移行に関する研究
研究実施期間	令和2年度～令和3年度
研究機関名	石川県立大学
研究代表者名	勝見 尚也

1. 委員の指摘及び提言概要

研究戦略が明確で、2年間の短期間にもかかわらず、農業肥料のマイクロプラスチックの発生源としての存在について定量的に示した、非常に意義の深い研究成果である。しっかりとした現場調査やモデル研究の成果を雑誌論文に発表している。行政としてプラスチック対策を考えるうえで基礎となる重要な結果であり、早急に成果を有効に活用されることが望まれる。今後、実態把握とともに、移動・蓄積というモデルベースの検証、半世紀近くの使用実績との関係性の検証、今回の研究成果に基づいたシステム研究(動的かつライフサイクル的アプローチ)の継続推進や、流出抑制、除去に向けた対応策(短期、中期、長期)の検討等が期待される。

2. 採点結果

評価ランク：S